

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-63453

(43)公開日 平成5年(1993)8月24日

(51)Int.Cl.⁵

A 4 7 L 13/17

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 2119-3B

審査請求 未請求 請求項の数 2(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平4-15811

(22)出願日 平成4年(1992)2月10日

(71)出願人 592062699

有限会社レオデザイン

東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目8番10号 外
苑アビタシオン203号室

(72)考案者 田口 勝雄

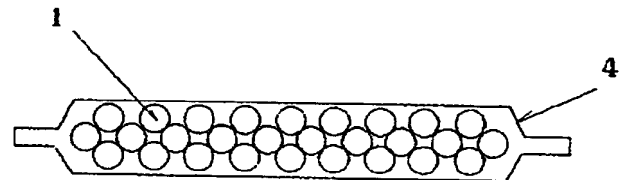
荒川区西尾久5丁目15番16号

(54)【考案の名称】 液剤入りカプセルを内包した携帯用雑巾

(57)【要約】

【目的】 雑巾に内包された液剤の長期保存が可能な、
携帯用雑巾

【構成】 握力で用意に粉砕可能で、なおかつ、柔軟性
を持ち、たとえば寒天等を利用した、耐水性のある直径
数mmの大きさの球状カプセルの中に、洗剤もしくはワ
ックス等を注入する。上記カプセル適量を保湿浸透性の
ある不織布等で包み、ヒートシール等で袋状に形成す
る。使用時に不織布を握ることにより、上記カプセルが
破れ中に入っている洗剤等の液剤が流出する。流出した
洗剤、ワックス等の液剤は不織布等の繊維に浸透し、雑
巾として使用することができる。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 握力等の力で用意に粉碎可能な球状カプセルの中に液剤等を注入したものを、保湿効果のある不織布等で包み、使用時に不織布を握る事により、洗剤等の液剤が保湿浸透性のある布等に吸いこまれ、不織布の表面および組織中に浸透することにより、雑巾として使用することを特長とする携帯用雑巾。

【請求項 2】 不織布内に内包させたカプセルにより長期保存が可能な、実用新案登録請求の範囲第 1 項記載の

液剤入りカプセルを内包した携帯用雑巾

【図面の簡単な説明】

【図 1】 カプセル 1 断面図

【図 2】 雑巾の断面図

【符号の説明】

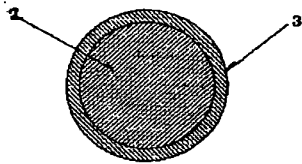
1 カプセル

2 液剤

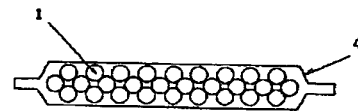
3 表皮

4 不織布

【図 1】



【図 2】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は長期保存が可能な、液剤入りカプセルを内包した、携帯用雑巾に関する。

【0002】

【従来技術】

従来でも繊維に液剤を浸透させた拭い布は存在しているが、専用の気密性容器もしくはアルミを施した袋等で密閉している。前者の場合、単体でのパッケージであれば、使いきりとしてポリエチ等の袋詰めを行なえば、問題はないが、ある程度の枚数を収納し、なおかつ、ある程度断続的に使用するためには、ケースの開閉に対して気密性を持つ必要がある。

【0003】

そのため保存性はよいが、開閉口等をもうけるために、容器自体は大きくなってしまい携帯性はあまりよくない。

【0004】

また、現在実際に使用されているアルミ使用のポリエチ袋等は、未使用の密閉状態においての保存性はよいものの、一度封印をといて使用すると、密閉状態を再び作るのは難しく、早期に使いきってしまわなくてはならない。

【0005】

ほかにはポリエチレンの袋等に液剤を注入して、それをさらに保湿効果のある不織布でつつみ、使用時には手の力にてポリエチレンの袋を破裂させ、中の液剤を不織布の表面および組織中に浸透させるものがあるが、保存性もよく携帯性もよいものの、中のポリエチレンのバックを破るのに手がかかるうえに、使用感もポリエチレンの破けた袋が残っているためにごわごわとしており、あまりよくない。

【0006】

【考案が解決するための手段】

本考案は上記の問題点を解決するために、握力で用意に粉碎可能でなおかつ柔

軟性を持ち、たとえば寒天等を利用した、耐水性のある直径、数mmの大きさの球状カプセルの中に、洗剤もしくはワックス等を注入する。

【0007】

上記カプセル適量を保湿浸透性のある不織布等で包み、ヒートシール等で袋状に形成する、

【0008】

使用時に不織布を握る事により、上記カプセルが破れ中に入っていた洗剤等の液剤が流出する。

【0009】

【作用】

流出した洗剤、ワックス等の液剤は保湿浸透性のある不織布等の繊維に浸透し、雑巾として使用することができる。

【0010】

【実施例】

実施例を図面にしたがって説明する、第1図のカプセル1の中には、洗剤、ワックス等の液剤2が内包されている。

【0011】

カプセル1の表皮3は寒天等の材料で、形成されている。

【0012】

上記カプセル1適量を保湿浸透性のある不織布等4で包み、ヒートシール等で袋状に形成する。

【0013】

【考案による効果】

使用時に不織布を握る事により、上記カプセルが破れ中に入っていた洗剤等の液剤が流出する。流出した洗剤、ワックス等の液剤は保湿浸透性のある不織布等の繊維に浸透し、雑巾として使用することができる。

【0014】

そのため本考案はカプセルにより液剤が保存されるので多数の枚数を同時にパッケージに収納する場合、簡易なパッケージで長期保存が可能になっている。ま

た未使用時には布が乾燥しているので、パッケージ等に密閉性の必要がない、そのため包装形態を簡略にできる。また、以上のような理由により携帯性もよい。

【 0 0 1 5 】

使用の際には、カプセルが柔軟性を持っているため、破れたあとのカプセルが使用感をそこなうといったこともない。